



学校だより

すべての命が輝く鎌田小学校へ



鎌田マスコットキャラクター
くすのつき m.m

第六号 校長 杉村 幸恵

雨の季節を迎えています

例年よりも八日も早い梅雨入りとなりました。五月に梅雨入りするなんて・・・と思っていました。十年ぶりのこと。十年前にもそんなことがあったのか・・・と、案外覚えていながら自分では驚いているところ。体を動かして遊ぶことが好きな子供たちにとっては、つらい時季です。子供たちは、「少しの雨ぐらいなら大丈夫！」と運動場に飛び出していきたくところなのですが、そうはいきません。室内での遊びを考え、安全に過ごしてほしいと思います。



危険予知能力をはたらかせましょう

先日、地域内にある会社の方が、御自分の敷地にこのような安全対策をしてくださいました。危険を知らせる表示板や黄色コーン、ロープが緩まないように壁に杭まで打ち付けてくださっています。ありがたいことです。



小学生であっても、これは「何の目印なのか。」「何に気を付けて通らなければならないのか。」すぐに分かると思います。ところが中には、あえてこのロープをまたいだり、危険を知らせるバーを蹴ったりしている子供もいるようです。たいへん残念なことです。

子供たちの通学の様子を見ていると、上手に路側帯の中を歩いたり、列を整えて道路を歩いたりしている班も多くみられます。ところが、中には道路ではないところ（道路沿いの家からは、私有地である溝にかけられた鉄板やグレーチング、柵のない駐車スペースなど）にはみ出して歩いている子供もいます。



大勢の子供たちが鉄板の上をバンバンと大きな音を立てながら歩くのも御迷惑なことですし、他人の敷地内に入ることは、子供であってもいけないことです。グレーチングはぬれると滑って危険です。また、すべての溝にグレーチングがかけられている訳ではありませんから、急に溝に足を取られてしまうことも考えられます。他にも大きなケガにつながるものが想像されます。



きをつけてね

学校は、子供たちが安全に登下校することができるよう、関係機関とも連携しながら点検をしています。また、先日はPTAの役員の方々と、危険箇所へ設置する立て看板づくりを行っていただいています。大人も子供たちの安全を守るためにできることをします。しかし、子供たちにも危険を予知して行動する力（危険予知能力）を付けていくことが必要です。この機会に、御家庭でもお子様と話し合っていたければありがたいと思います。

研究・研修への取組に御理解をお願いします

学校での子供たちの学び充実と、教員の指導力は切り離すことができません。子供たちに確かな学力を付けたり、主体的に学習に向き合う力を育てるためにも、教員は常に学び続けることが必要です。そのために、本校では本年度も市内外の教員の方に学習の様子を公開し、指導方法について研修を行います。また、教育研究所をはじめとする教育機関との共同・調査研究に参加し、授業実践を発表したり研究成果を公開したりもします。

ただし、これらはあくまでも指導者である教員側の研究や研修が目的であり、その成果をもとにさらに学校として進化していくための取組です。場合によっては、学習の様子や写真や調査結果を研修の資料とすることも考えられますが、すでに提出していただいています「写真・新聞・テレビ等の撮影に対する可否」に沿った対応をすることはもちろんのこと、必要最小限の撮影等を心がけてまいります。また、研修や研究目的以外では使用しません。研究・研修への取組に御理解をお願いします。

なお、本件に関するお問い合わせは、学校（76-7776 杉村）までお願いします。



ガイドブック内訂正のお知らせ・・・P3 7月16日給食終了↓7月14日給食終了